

令和6年度N○11長岡第三小学校図書だより

## 本のひろば 3月号

今年度は29,208冊でした！！



上の数字は、みなさんが図書室から本を借りて一年間で読んだ冊数の合計です。毎年、ゆるやかにですが増えているこの数字。図書室で真剣に本と向き合っているみなさんの姿を日々見ているので、納得できる結果でした。毎年、委員会や課題などで忙しくなり、どうしても図書室へ来る機会が減ってしまう高学年ですが、今年はその高学年が時間をうまく使い図書室に通い、貸出し冊数を増やしていたのが印象的でした。ただそれは、返却日を忘れてしまいがちな高学年に対して、折に触れてクラスまで行き返却や貸出しの声かけをしてくれた図書委員の働きがあったことも理由の一つだと思います。また、図書委員ではないけれど本を書架に戻すという、地味で大変な作業を快く手伝ってくれたみなさん。そして、毎回図書の授業の最後に次のクラスが気持ちよく授業に臨めるように机や椅子を整えてくれたみなさん。そんな一人一人の優しさで三小の図書室は成り立っています。心から感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとう！！

## ご卒業おめでとうございます

高学年の最後の図書の授業の中で紹介した、希望について書かれた本から一部を抜粋して、お祝いの言葉として贈ります。



「きぼう ころろひろくとき」

作/ローレン・トンプソン

訳/千葉茂樹

(株)ほるぶ出版



### きぼう

それは、おそろしいときに  
「たすけて」と こえをあげること。  
もとめれば、すくいは  
めのまえにある。

### きぼう

それは、だれかに  
たいせつに されていると知ること。  
じぶんにも  
たいせつな ひとがいると知ること。  
～中略～

### きぼう

それは、いつもあなたのなかにある。  
芽をふくときをすくかに まっている。



## 6年生が図書室での6年間を振り返ってみなさんに教えてくれました。

お気に入りの本をたくさん教えてくれました。一部紹介します。

『思い出に残っている絵本は・・・。』



作/リサ・パップ WAVE出版

みんなの前で本を音読するのが苦手な主人公が、  
図書館の犬に読み聞かせをすることで苦手を克服する  
お話。共感できる人が多かったようです。

作/ローズマリー・マカーニー 西村書店

世界中の子ども達の通学路が紹介されている写真絵  
本。その中には、とてつもなく長い距離や高い山、川を越  
え学校に通う子ども達の姿が映し出されていました。  
印象に残る一冊となったようです。

## 『みんなに読んで欲しいおすすめの本！！』

こちらは、知識が増える本や、ちょっと考えさせられる本が多数ありました。

- ・「あるかしら書店」 著/ヨシタケシンスケ ポプラ社
- ・「おなやみ相談部」 作/みうらかれん 講談社
- ・「昔話法廷」 脚本/今井雅子 ほか 金の星社
- ・「サイコーの通知表」 作/工藤順子 講談社
- ・「アレにもコレにも モノのなまえ事典」シリーズ 著/杉村善光 ポプラ社
- ・「10歳の質問箱 なやみちゃんと55人の大人たち」  
編/日本ペン字クラブ「子どもの本」 小学館







